

藤沢

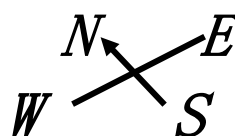
エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

2025年2月1日

第369号



主な記事

- ・公共施設の複合化を考えるここであらう
- ・ナンバンギセル
- ・平和憲法の碑建立、実現に一步前進！
- ・湘南アイパークに対し質問と回答

<http://econet2015.sakura.ne.jp>事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

☎ / F A X 0466-87-4922

ペロブスカイト太陽電池が拓くエネルギーの未来 太陽電池で街中を発電所にできたらいいな!!

ゼロカーボン講演会が12月13日、藤沢商工会館6階ホールで行われました。

薄くて曲がる次世代の**太陽電池**として世界から注目される「**ペロブスカイト太陽電池**」は再生可能エネルギー拡大の切り札として世界から注目されています。その開発者である宮坂力（桐蔭横浜大学医学工学部特任教授）教授が講師ということで定員150名の会場は満席で、ペロブスカイト太陽電池が拓くエネルギーの未来について熱い期待が寄せられていました。

「ペロブスカイト太陽電池が社会に実装されると、太陽のエネルギーをより多く効率的に電気に換えることができます。ビルの壁や窓、家庭のベランダ、室内、車の屋根。フィルム状で柔軟性に富み、半透明にもできるから、どこにでも貼って発電できる。帽子や洋服に貼れるウェアラブル発電機があれば、災害時にも役立つでしょう。街の至るところに太陽電池。都市全体が発電所になるのです」

そうならば、日本のエネルギー自給率100%も夢ではないと、宮坂教授は言います。耐久性の向上と量産体制の確立が課題ですが、積水化学工業株式会社をはじめ、トヨタ自動車(株)、(株)東芝など多くの企業が開発を進め、日本でも実用化は目前です。

屋根だけでなく、北向きを含めて壁や塀など至るところで発電できれば、太陽電池の立地が飛躍的に増え、分散型電源でかなりの発電量を稼げます。コスト面でも家電程度の価格で太陽電池が買え、自給自足できるようになれば、エネルギーコストの低下と脱炭素が両立できます。ペロブスカイト太陽電池にはこうした社会変革をもたらす潜在力を秘めています。

著書「ペロブスカイト太陽電池」共立出版を読みました。その最終章（第9章）地産地消の自給自足電力としての普及では、ペロブスカイト太陽電池は大きく役立ち、地域のエネルギー地産地消コミュニティ（マイクログリッド）を提起しています。

（気候危機アクション藤沢 宮地俊作）



ロウバイ 小出川付近で

ここであらそ 公共施設の複合化を考える

「藤沢の文化芸術を考える会」では、昨年 6 月に第 1 回「ここであらそ」を実施し、多くの出展者と来場者による継続開催の要望があり、その可能性を探ってきました。それが、市民会館大ホールと前庭を利用できる可能性が浮上、今年 5 月 31 日(土)に、第 2 回継続が確定、現在その準備に追われています。

当会は市民会館大・小ホールや南市民図書館の再開発事業の計画を知った市民が結成しました。公共施設の複合化を前提に進められている実態を多くの市民が知らぬままで、人と地域を繋ぐ公共性の高い文化施設として機能するのか、危惧を感じたためです。全国的に成功している文化施設の多くが、市民参加を中心に計画立案が進められている中で、藤沢市の OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）がどのように進められていくか注目しています。

現在、OUR Project は、「管理・運営業務において、民間事業者が明確な役割分担のもと、業務を実施することにより、円滑な事業運営が可能になる」としています。事業費を抑える観点から、公民連携での公共事業は増える傾向にあり、隣市の「シリウス」も民間企業に運営を委託しています。一方で、子育てや高齢者の孤立化、災害時の対応など、採算が取りにくい公共的な役割を民間企業がどこまで担えるのか、採算が合わずに撤退といった事態は起きないのか、未知数は少なくありません。

とはいえ、行政に課題をおしつけるばかりでなく、市民が自ら参加して共に交流していく場「ここであらそ」を創出し、現状の文化施設の有効性と可能性を十分に引き出そうと考えています。企画参加はもちろん、当日の来場も歓迎です。ぜひ一緒に盛り上げましょう。

（藤沢の文化芸術を考える会・事務局 黒川栄）

まさかの「ナンバンギセル」

11 月の終わりに藤沢市石川 5 丁目のとある空地で、たくさんのピンク色の花を見つけました。その場所はひと月前には、ススキがうっそうと茂っていた所でした。そのススキは一斉に、草刈り機で刈り取りとられ、運びだされていきました。

ピンクの花の正体は、「ナンバンギセル」、ネット情報によれば、「イネやススキの根に寄生し、葉緑素が無く、寄主の根から吸収した栄養分に依存して生育する」また「花期は 7-8 月、赤紫色の花を 1 個つける」らしい。空地にススキが茂ることは普通です。町中の住宅地でもよくあることです。そんな場所に「ナンバンギセル」が生えることが珍しいことなのか、普通なのかわかりません。少なくとも過去に見た記憶はない。ススキが刈り取られてはじめてその生えていることがわかっただけで、ススキの根元にすでに夏からあったものかも知れません。それとも突然宿主が刈り取られたために花をつけたものか、ここは是非とも専門家の方に



きいてみることにしたい。その後、この花は 10 日ほどで枯れていき、数を減らしてしまったが、ススキの根は生きているでしょうから、来年も出会えるかもしれない。楽しみにして待ちましょう。みなさんご存じでしたらご連絡をお願いします。

（菅谷芳雄）

湘南アイパークでワクチン製造？！

昨年マスコミに、米モデルナ（株）等 ワクチン関連数社が藤沢・鎌倉市境にある湘南アイパークに入るというニュースが流れました。武田問題対策連絡会では、当初武田薬品工業（株）は「ワクチン製造は湘南ではしません」と言っていたことや、現在使われていない、とても怖いウイルスを扱う P3 施設使用の恐れがあることなどから、湘南アイパークと藤沢市に質問状を出し、回答を得ました。

2024年12月20日

アイパークインスティテュート（株） 藤本利夫社長
藤沢市 鈴木恒夫市長
藤沢市環境部環境保全課 関野課長

湘南アイパークについての要望

武田問題対策連絡会 共同代表 安楽菊男 福岡秀治 青柳節子

日頃、環境の保全について、市民のためにご尽力いただき、ありがとうございます。最近、湘南アイパークに関しての新情報が突然マスコミに取り上げられ、驚いています。それによると、コロナワクチン開発製造を手掛けた米モデルナ（株）などワクチン関連数社が湘南アイパークの地に入り、国の補助を受けてワクチン製造をおこない、次の新ウイルスパンデミック時には、新ワクチン 開発・製造を担うと報道され、モデルナ CEO と黒岩知事が並んだ写真がタウンニュースに掲載されました。ついては、要望がありますので、ご検討をお願いいたします。

要望

1. ワクチン関連情報について、どのような計画があり、どのような企業がくる予定なのかなど、詳しい全体像が分かる説明会を早急に一般市民向けに開いてください。

（回答） アイパークインスティテュート（以下「アイパーク」）

アイパークとしては、今年の6月に実施予定の連絡会議（環境保全協定に基づいて毎年実施している）の際に、町内会長様に向けてご説明差し上げる予定です。

（藤沢市の回答） 藤沢市として、必要な調整をします。

2. 武田薬品湘南研究所設立時、ワクチン製造は山口県でおこない、湘南では製造しないと言っていました。湘南は人口密集地ですので、危険な実験・作業などはないという意味もあったかと思えます。ワクチン製造について、その安全性を説明してください。

（回答） アイパーク モデルナ社では m-RNA ワクチンの製造を予定されていることから、病原体の使用は想定されていません。ワクチンの製造法に関してもご理解いただけるように連絡会議の場でご説明いたします。

（藤沢市の回答） 藤沢市として、安全性を確保したうえで製造するよう指導いたします。

3. ワクチン開発の場合、P3 施設を使用する場合がでてくると思います。人口密集地で日本有数の観光地である鎌倉・藤沢で危険な P3 施設は稼働しないように 要望いたします。

（回答） アイパーク 上記のように病原体は使用しませんので P3 施設を稼働する事はありません。

4. 湘南アイパークの敷地内にフッ素が検出されています。自然由来と言われているが、最近 PFAS が問題になっていますので、安心のために、周辺の井戸等の PFAS 検査をしてください。

（回答 藤沢市） 市内の PFAS の検出状況等により、必要な調査を検討します。

以上



平和憲法の碑建立、実現に一步前進！

建立する会を立ち上げて2年、様々な活動・イベント・学習会、立地探しなどを経ていよいよ5月に完成を目指すという段階になりました！

「平和憲法など考えたことがない…。」そういう人々にも呼びかけようと始めた活動ですから、時間をかけ、多様な意見を集約し、民主的な運営を心掛けながら今日まで歩んで来ました。

支援者には私が主宰する「NPO 気候危機対策ネットワーク」の活動会員が多く参加してくれています。

全人類的課題である「気候危機」と「平和の危機」、これらの根っこは同じであり、「気候危機に立ち向かう行動も、核廃絶平和運動も同時に推し進め、連帯声を上げ続ける行動は一体不可分である」という事を理解している人々です。

このような草の根運動こそが、より強固な力になるものと信じています。

「世界に誇れる希望の象徴」である「碑」には、多くの人々の思いが込められます。

何より「あっと、驚く！」ものがいい！これは私自身が全国の「九条の碑」を見て歩き、ありきたりなものは避けたいという思いから。みなさんからも、「石碑に、ただ文字が書いてあるのは嫌！」「子どもを連れていきたいと思えるものがいい」「平和と言えば鳩!というのはマンネリ!」…逆に「やっぱり鳩だ!」と言う様々な意見が出て、さらには「なんで猫なの?あひるなの?」「でも足立区のは銀の球だよ!」と言う声等も出て、実にエキサイティング。しかし最終的には「撫で撫でできるものがいい」と言うことにまとまりました。

さあ、いよいよアーティストの出番、私たちの思いはすべてにつけました!

山内若菜さんに、自由に創造の翼を広げてもらおう! 任せたりは創作作業に集中してもらおう! やっとここまで来たのです。

と、ここまではよかったが…400万円の目標には程遠い…わ〜こりゃあ大変だ!

皆さま、どうか「大きな希望に大きなご寄付を!」よろしくお願い致します。

(湘南 平和憲法の碑を建立する会 代表 武本匡弘)

ECONET INFORMATION

▲「第2回ここでくらっそ」出展・出演募集

ステージ ワークショップ 売店など市民会館前庭で5/31に行います

申込みは2月10日(月)~2月28日(金)

QRコードから→

詳しくはチラシをご覧ください



▲15年目の福島

映画「津島」上映と講演「私たちは何を失おうとしているのか」今野秀則さん(訴訟団)土井敏邦監督
2月23日(日)13:00-17:00

市民会館第一展示ホール 参加費500円

主催: こども達に未来を in 湘南 090-5567-7435

▲映画「決断」上映

3月9日(日)14:00- (13:40 開場)

藤沢市民会館第2展示ホール

前売券¥800 当日¥1000 (30歳以下無料)

主催=福島の子もたちとともに・湘南の会

連絡先 090-2527-3200



▲福島原発事故14年展

3月28日(金)~4月3日(木) 10時-18時

写真展 ミニトーク 朗読など 参加無料です

かながわ県民活動サポートセンター(☎045-312-1121)

▲藤沢エコネットから

◆ニュース1月号訂正します

1ページ12行目・・米国、インド、北朝鮮の3か国

→米国、インド、北朝鮮等44か国

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

◆事務局会議 2月1日(土)10:00~ 六会公民館

《編集後記》街を歩いていると蟬梅が香っていたが、それもひと段落し2月になりました。これから本当の春に向けて楽しい季節となります。ただ残念ながら寒々としたニュースばかりが目立ちます。八潮の道路陥没事故、ニューヨークでは航空の衝突、有りえないその実相に戸惑うばかりです。原因を追究したただただ再発への対策を怠りなく管理願いたい。(Y)